

授業科目名	再生医学入門	大学名	獨協医科大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期
学部・学科等	医学部・医学科	曜日	教務課までお問い合わせください。
必修・選択区分	選択	時限(時間)	教務課までお問い合わせください。
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	0.5 単位	授業会場	教務課までお問い合わせください。
担当教員名	小橋 元、内山 浩志、高山 英士		
電話番号	0282-87-2419 (教務課)	e-mail	<a href="mailto:kyoumu@dokkyomed.ac.jp">kyoumu@dokkyomed.ac.jp</a>
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;  近年、ES 細胞、iPS 細胞、組織幹細胞などの様々な細胞を用いた再生医療の臨床研究や基礎研究が進められている。Muse 細胞 (multilineage-differentiating stress enduring cell) は 2010 年に発見された比較的新しい幹細胞であり、自己複製能、三胚様性の分化能を有するとともに、腫瘍性がないため安全性が高い点が特徴である。本講義では、幹細胞の一般的な性質を序論で述べた後、Muse 細胞の発見から、その特徴、最先端の研究事例までを紹介し、Muse 細胞について理解を深める。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;  特に必要としないが、Muse 細胞研究といっても、幅広い学問領域を包含している。各講義で述べられたことをよく復習するとともに、興味を持った内容については独自に調べて欲しい。</p> <p>&lt;授業内容と具体的な進め方&gt;  Muse 細胞の歴史は比較的短く、多数の論文が発表されており、研究は現在進行中である。本講義では論文情報に触れつつ、講義資料を元に解説を行う。</p> <p>&lt;講義内容&gt;  1. 医学における Muse 細胞  2. 幹細胞とは  3. 幹細胞を用いた再生医療  4. Muse 細胞の特徴と性質  5. Muse 細胞の臨床研究および基礎研究事例  6. Muse 疫学研究</p> <p>&lt;使用する教材・資料など&gt;  各講義で授業内容を示した資料を配布する。また用いる研究論文 (各自入手可能なもの) を指定する。</p> <p>&lt;成績評価法&gt;  講義中に出されるレポート課題およびミニテストで評価する。</p>		